

事務事業名	スマートエネルギー推進事業				担当	市民生活部 環境課 環境対策係				
政策名	5	「環境づくり」～安全なまちアップ!～				☐ 総重（総合計画重点事業）	☐ 総新（総合計画新規事業）			
施策名	4	自然環境の保護と地球温暖化対策の推進				☐ 戦拡（総合戦略拡充事業）	☐ 戦新（総合戦略新規事業）			
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	☐ 単年度のみ				
法令根拠	真岡市住宅用太陽光発電システム等設置補助金交付要綱					☒ 毎年度実施（開始年度21年度～）				
予算科目	1.一般会計	4.衛生費	1.保健衛生費	4.環境衛生費		☐ 期間限定複数年度（年度～年度）				
予算科目										
予算科目										
事業概要	・効率的なエネルギーの利用や地球温暖化防止等についての、広報活動や環境学習をおこなうとともに、「スマートエネルギーもおか」の推進のための事業を講じる。 ・再生可能エネルギーの普及促進を図るため、住宅に太陽光発電システム及び蓄電池を設置する市民を対象に設置費用の一部を補助する。 【補助金額】太陽光：1kW当たり1万円（平成21年度 5万円/kW、平成22年度～ 3万円/kW、平成28年度～ 2万円/kW、平成30年度～ 1万円/kW）、補助上限4万円（4kW分まで） 蓄電池：1kWh当たり1万2千円（令和5年度より）、補助上限6万円（5kWh分まで）									

1. 現状把握の部（1）事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）				④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
6年度実績 ・市民向けの環境学習会の開催 ・住宅用太陽光発電システム等設置補助金交付事務				名称	単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
				ア 環境学習会の開催数	回	4	4	5	4	5
				イ 補助金交付数（太陽光分）	件	81	110	79	78	70
				ウ 補助金交付数（蓄電池分）	件	0	0	86	67	70
				エ						
				オ						
7年度計画 ・市民向けの環境学習会の開催 ・住宅用太陽光発電システム等設置補助金交付事務										
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等				⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
市民				名称	単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
				ア 世帯	世帯	29788	30079	30717	31086	31454
				イ 人口	人	78144	77635	77578	76972	76498
				ウ						
				エ						
				オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・エネルギーの大切さや地球温暖化防止等の意識の向上や再生可能エネルギーの利用を促進する。				⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
				名称	単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
				ア 環境学習会参加人数	人	78	95	131	79	100
				イ 補助金交付数（太陽光分）（累計）	件	2263	2373	2452	2530	2600
				ウ 補助金交付数（蓄電池分）（累計）	件	0	0	86	153	223
				エ						
				オ						
（2）総事業費の推移				単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	4,974	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	6,900	8,853	
			一般財源	千円	3,094	4,300	3,306	306	0	
	事業費計（A）			千円	3,094	4,300	8,280	7,206	8,853	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) エネルギーの大切さや地球温暖化防止等の意識を向上させることや再生可能エネルギーの導入補助は、良好な生活環境の保全に結びついている。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) エネルギーの大切さや地球温暖化防止等の意識を向上させることは、行政の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	☒ 対象・意図を見直す必要はない ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある (評価理由) 全市民対象なので適当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地はない ☒ 向上余地がある (評価理由) エネルギーの大切さや地球温暖化防止等に関する市民の関心をより高めるため、環境学習会等の啓発事業を通じて、市民に周知していく。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	☐ 類似事業と統合・連携ができる (類似の事務事業名：) ☐ 類似事業と統合・連携できない (類似の事務事業名：) ☒ 類似事業はない (評価理由) スマートエネルギーや地球温暖化防止に関する事業は、類似事業がなく、統合連携ができない。
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある (評価理由) 住宅用太陽光発電設備等設置補助の補助額については、設置費用の10分の1以下であり、削減の余地は無い。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） ☐ 廃止 ☒ 見直し（☐：目的妥当性 ☒：有効性 ☐：効率性） ☐ 統合 ☒ 継続 環境学習会などを通してエネルギーや地球温暖化防止に関する啓発の強化を図る	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td> </td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td> </td> <td> </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(2) 課題、課題の克服の方向性 地球温暖化防止等に関する市民の関心を高めるとともに、ゼロカーボンシティ宣言の実現に向け、現在策定を進めている第3次真岡市環境基本計画に地方公共団体実行計画（区域施策編）及び地域気候変動適応計画を盛り込み、地球温暖化防止等に対するより効果的な施策の策定や市民等への周知を推進する。																						

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足(説明責任不充分) ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">/</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: right;">/</td> <td style="text-align: right;">/</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			/	低下		/	/
					コスト																		
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			/																			
	低下		/	/																			
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☒ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																					